

北海道別海高等学校の行動計画(グローバル・アグリハイスクール宣言)

全国の農業高校の行動計画		学校において令和2年度に重点化する取組及び具体的方策		
「5つの基本方針」	「10の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	目標達成期間	具体的方策
I グローバル教育 で人材を育てる 学校	①「生徒一人一人を一層成長させる」教育を行います。	(1)資格取得やアグリマイスター顕彰制度を活用しながら達成感を感じる取組みを充実させる。 (2)実験実習の精選とねらいや評価を明確にし、授業レベルを向上させるとともに、生徒が自主的に学ぶ能力を育てる。	A B	(1)農業技術検定に関わる学習時間を十分に確保し、合格率向上を目指す。 (2)実験実習のテキストを自作し、教員の資質向上を図るとともに地域の実態や学科の特性にあった主体的・対話的で深い学びを実践する。
	②「世界と日本をつなぐグローバル」教育を行います。	(1)自国や地域の産業と世界がどのようにつながっているかについて学習する機会を設ける。 (2)海外視察研修を通して、国際的な視野を醸成し、国内農業のすばらしさを実感できる学習を推進する。	B A	(1)大学や地域関連企業などから講師を招いて講演会を実施する。 (2)カナダへの海外視察研修についての事前指導、計画、事後指導を丁寧におこない、帰国後の報告会を実施する。
II 地域社会・産業に寄与する学校	③「地域農業の生産を支える」教育を行います。	(1)プロジェクト学習を強化し、地域農業の課題解決に向けた学習に取り組む。 (2)研修牧場での研修や農家委託実習を実施して、産業現場における実践力を養う。	B A	(1)研究班活動により、良質な飼料作物の生産、地域の生乳を活用した加工品の製造に関するプロジェクト学習を実施する。 (2)事前指導から事後指導まで体系的で一貫した指導体制を構築する。
	④「地域の農業関連産業に寄与する」教育を行います。	(1)インターンシップをとおして、農業関連産業に対する理解を深める。 (2)酪農視察研修を実施して、地域の先進的な技術や知識について理解を深める。	A A	(1)地域の実態を把握する学習機会を設定し、体系的な指導を実施する。 (2)地元乳業メーカーや地域の先進酪農場などの視察研修を実施する。
	⑤「地球環境を守り創造する」教育を行います。	(1)植樹事業への積極的な参加を奨励する。 (2)プロジェクト学習をとおして、地域の環境に関する課題解決に向けた教育を推進する。	A A	(1)北海道開発局と連携し、全学年で苗木の生産、植樹活動を実施する。 (2)大型のバイオガスプラントから出る消化液の活用方法に関わるプロジェクト学習を実施する。
III 地球環境を守り創造する学校	⑥「食農」教育を推進します。	(1)異年齢交流をとおして、食農教育を推進する。	A	(1)幼稚園児とのジャガイモ栽培をとおした食育交流事業である「ふれあい農園」を実施する。
	⑦「地域資源を活用する」教育を行います。	(1)地域資源を活用し、地域の自然や文化について理解を深める。	B	(1)別海町グリーンツーリズムネットワークと連携し、学習会やフットパスの整備に取り組む。
	⑧「地域交流の拠点となる」教育を行います。	(1)生命とのふれ合いの場(農場開放・食農教育等)を提供する。	A	(1)中学生への学校圃場の開放をおこなう。
	⑨機関・団体と連携した」教育を行います。	(1)北海道開発局との連携を図る。 (2)プロジェクト学習において、専門機関との連携を図る。	A A	(1)北海道開発局と連携した、植樹活動を実施する。 (2)課題や目標の設定について専門機関と情報を共有できるよう連絡体制を構築する。
IV 地域交流の拠点となる学校	⑩「地域防災を推進する」教育を行います	(1)地域の自然災害や安全に関する教育を推進する。	A	(1)危機管理マニュアルの改善徹底を継続的に実施する。 (2)防災意識を高めるための教育をおこなう
	地域防災を推進する学校			